

# 精華町教育委員会会議録

平成24年（第7回）

1 開 会 平成24年7月30日(月) 午後3時30分  
閉 会 平成24年7月30日(月) 午後4時30分

2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 弓矢委員  
太田教育長 (欠席：大竹委員)

3 出席事務局職員

木原教育部長 竹島学校教育課長  
村川生涯学習課長 永井総括指導主事  
土井学校教育課主幹

4 議事の概要

(1) 開会

委員長から第7回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回会議録について

教育部長から平成24年第6回教育委員会の会議録について説明。

**【意見等】**

・特になし。

**【採 決】**

・全員承認。

(3) 教育長報告事項

ア いじめ問題について

天津市の中2男子自殺問題に関連して、いじめ問題について報告。

昨年10月11日に自宅マンションから転落、警察署は自殺との見方をしている。その後新聞に記載されている経過をたどって説明。

2月24日、生徒の両親が損害賠償を求めて提訴。市は、まず争う姿勢であった。

7月に入って市教委の方でも、因果関係は特定できないという説明。

しかし、7月6日、市長部局の方は、特に市長が第三者委員会を設立して再調査する意向を示すということを表明。

7月11日、警察が捜査を開始。学校や教育委員会の資料押収。

これらの経緯をたどって大きな社会問題になり、以降、市教育委員会の見解、市長の見解、警察の調査関連記事、さらに国が実態調査に乗り出すということ、また新しい組織をつくるような考えであることが報道された。

また、大津市の実態から、教育委員の質疑が行われていないというような報道もあり、教育委員会制度そのものの見直し論などを大津市長が表明するなどさらに大きな社会問題にまで発展した。

いじめの現状については、22年度と23年度では、山城地方全体では小学校で36件から45件に増え、中学校でも33件から42件に増えた。精華町では、小学校が同数で1件から1件、中学校は2件からゼロ件となっている。今年度に入り6月まで、つまり社会問題化する前までの状況は、小学校はゼロ、中学校は1件。

いじめを含んで疑わしき事象の再点検を指示したところ、この7月以降で5件のいじめではないかという事象が報告されており、現在調査をしている。

その内容は、小学校2件、中学校3件であり、教育委員会事務局も入り、調査を行っているが、いじめと思われるケースも出てきている。

教育委員会事務局としては、定例の校長会が7月3日で、大きな問題になる前だったため、直接の議題にはしなかったが、7月11日の定例の教頭会では、今報告したような事象も報告しながら、その指導の徹底を図った。内容は、資料1で、いじめの事象の件数や、実態把握及び取り組みの徹底を指導した。

昭和60年代に出された文部科学省のいじめに関するマニュアル及び平成18年度に改定された内容について、再度示し、指導の徹底を図った。

従来の内容は、特にいじめをとらえる一番最初の視点として、自分より弱い者に対して一方的に身体的、心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているものとしてきた。

それが、平成18年度に改定され、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的苦痛を感じているものに

変更。これは、いじめられる側の精神的、身体的苦痛の認知として見直すことで、児童生徒はいじめを認知しやすいようにしたものである。

ただし、従来の調査研究にもあるように、攻撃が一過性でなく反復継続して行われるという指摘は、大事だということを押さえた上での対応としている。

資料3は、7月17日に京都府教育委員会からいじめ問題への取り組みの徹底についての通知。早期発見、早期対応やいじめを許さない学校づくり、困ったときの連絡先について示されている。

このことを踏まえ、7月19日に町の独自の判断で、夏休み前までのいじめ問題の取り組みの総点検の実施を指示。

このような取組の中で、先ほど報告した5件が報告されており、新たにいじめに関する問題も出てきている。

本日の京都新聞にアンケート結果が掲載された。内容は京滋の全市町村教育委員会、府教委、県教委も含めてアンケートされたものであり、精華町にも調査があった。

設問は5件あり、最初の設問は、「大津市の中2自殺事件で、大津市教委の対応についてどう思われますか」という内容であり、対応は「適切か」、「不適切か」、「わからない」という3つの選択肢となっていた。

これに対して、大津市教育長の発言等いろいろと課題はあるが、「わからない」と回答した。その理由として、正確な事実を把握しているわけではなく、現段階で適切か不適切かを判断することはできないことを述べたが、尊い命が失われたことは厳粛に受けとめていることを併記した。

「厳粛」という言葉を用いたが、命は一步誤ると失われる。現に大津では失われた。

いずれにしても、こういうことは何処で起こるか分からないということで、厳粛に受けとめており、最悪の事態に至らないにしても、いろいろなことが起こることであるから、学校と教育委員会が一体となって取り組むことの大切さを今回の問題で改めて感じた。

そして、学校や教育委員会の対応はこのような形でよかったのかどうか、このことは十分に情報を集めながら、教訓化していく必要がある。

そのようないろいろな気持ちをもって「厳粛に」という表現をし、それをもって理由とした。

これ以外に、設問の2番目では、いじめが発覚した場合、どのように対応されていますかということで、教育委員会で対応、警察など他機関と連携、その他の3つがあり、これは警察など他機関と連携ということを回答した。いじめの内容にもよるが、教育委員会と学校だけの対応に終始すべきものではないと考えている。必要に応じて児童相談所等、関係諸機関と連携すべきであると考えている、と回答した。

いじめ対応の対策のマニュアルがあるかという設問3には、あると答えている。なお、教育委員会から大綱的なマニュアルを示して、各学校が学校の実情に合わせて、改善して各校で持っており、指導主事訪問時に確認をしていると回答した。

4点目でマニュアルはあると答えたが、現在のマニュアル内容は十分と思われますかという質問については、毎年、見直し、改善を諮ることは肝要であると考えていたので、不十分とした。

それから、いじめ対策の考え方、今後の検討課題、有効な事例など、ご意見をお書きくださいという設問5があり、それぞれの校種はそれぞれのいじめ対策を行うことも大切であるが、校種間で連携して系統的ないじめに係る取り組みを推進するとともに、就学前から家庭や地域において、人を思いやり、人、動・植物、物を大切にする指導や体験、経験が肝要だと思う、と回答した。

事象の詳細について、総括指導主事より説明。

事象の詳細は、個人情報に関する内容であり、精華町教育委員会会議規則第16条の規定により非公開とすることができるため会議に諮られ、「異議なし」としてこの件については非公開となった。

#### 【委員の意見等】

- ・事象が出てきている学校は限定されているのか。（伊藤委員長）

#### 【事務局】

- ・小学校が2校、中学校が3校となっている。（教育長）

・なお、この後に校長会との合同研修を予定しているので、このいじめ問題については次回教育委員会で論議をお願いしたい。(教育長)

#### (4) 教育部からの報告

##### ア 教育部長

###### ① 閉会中の総務教育常任委員会について

7月13日に閉会中の総務教育常任委員会があり、精華中学校の改築の基本構想とドライミスト検証を行った。ドライミストについて、当日現地で検証したが、あいにく湿度が高く、気化しなかったため、効果が薄かった。

また、8月8日に食生活についてのアンケートについて、総務教育常任委員会を予定している。

###### ② 平成24年第3回定例議会について

9月5日開会予定。教育委員会関係では、補正予算で、もうすぐ1年生の体験入学推進事業と京の未来創造校指定授業、コミュニティスクール推進事業の3つの補正予算を予定している。

###### ③ 平成23年度教育員会事業評価について

平成23年度の事業評価では、例年と若干様式を変え、町の決算報告で使っている事業評価、施策評価を取り入れまとめたいと考えている。

###### ④ 近畿市町村教育委員会研修大会の日程について報告

10月17日(水)奈良市(なら100年会館)で開催予定。

##### イ 学校教育課長

###### ① 精華町平和祭典2012について

8月5日(日)役場交流ホールで開催。映画、ドキュメンタリービデオ上映、パネル展示などを実施。

###### ② 精華町子どもの食のあり方懇談会及び精華中学校校舎改築等検討委員会について

精華町子どもの食のあり方懇談会設置要領、精華中学校校舎改築等検討委員会設置要領を制定しそれぞれの検討を進めていく。

子どもの食のあり方懇談会は、年度中に4回程度開催する予定。  
委員は、学識経験者、関係機関等から選任する。

精華中学校改築検討委員会は、年度中に5～6回程度開催する予定。  
委員は、学識経験者、関係団体、地域の代表等から選任する。

懇談会及び検討委員会の内容を教育委員会へ報告、意見等をいただき、懇談会、検討委員会で反映していく予定。

8月下旬から会議の開催を予定している。

③ 中学校総合体育大会の結果速報について

相楽地方中学校総合体育大会の速報結果を報告。

京都府中学校陸上競技大会で男子は、精華中学校の松岡君が400メートルで2位、大崎君が110メートルハードルで3位になり、近畿中学校陸上大会に出場。精華西中学校の江川君が100メートルで京都府陸上競技大会で優勝し、近畿陸上大会と全国陸上大会に出場

女子では、精華中学校の藤本さんが100mハードルで全国標準記録を突破、全国中学校陸上大会に出場。女子では100メートル2年で米倉さんが3位になり近畿大会に出場。

ウ 総括指導主事

報告事項なし

エ 生涯学習課長

報告事項なし

(5) その他

①6月から7月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数5件で、学校教育課関係は0件、生涯学習課関係が5件、うち社会教育係関係が3件、図書係は0件、体育係関係は2件。

(6) 教育部からの諸報告

ア 8月の行事予定について。

(7) 閉会

委員長が第7回教育委員会の閉会を宣言。